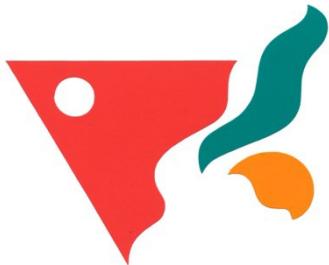


本場食品衛生検査所

理化学検査情報

Vol.78 2024 No.2
令和 6 年 11 月発行



今号の内容: 令和 6 年 7 月から 9 月までに検査した

残留農薬検査結果
放射性物質検査結果
総水銀検査結果
自然毒検査結果
動物用医薬品検査結果

横浜市医療局中央卸売市場本場食品衛生検査所

電話: 045-441-1153

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/shoku/shokuhinesei/>

1 残留農薬検査

令和6年7月から9月までの残留農薬検査は、国産農産物20検体(14種)について実施しました。このうち農薬を検出した検体数は5検体(農薬)で、残留基準値を超えた検体はありませんでした。なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査を言います。

(1) 国産農産物検査結果 検出値、基準値:検体1kgあたりに含まれる農薬のmg数(PPM)

検体名	産地	収去日	収去場所	検出農薬	結果	基準値
きゅうり	茨城県	令和6年7月18日	本場市場	なし	不検出	なし
サラダ菜	静岡県	令和6年7月18日	本場市場	クロチアニジン フルフェノクスロン	0.18 0.24	20 8
さつまいも	茨城県	令和6年7月18日	本場市場	なし	不検出	なし
キャベツ	群馬県	令和6年7月18日	本場市場	なし	不検出	なし
すいか	神奈川県	令和6年7月18日	本場市場	なし	不検出	なし
さつまいも	茨城県	令和6年8月1日	南部市場	なし	不検出	なし
トマト	山形県	令和6年8月1日	南部市場	なし	不検出	なし
だいこんの根	北海道	令和6年8月1日	南部市場	オキサミル	0.02	0.5
キャベツ	群馬県	令和6年8月1日	南部市場	なし	不検出	なし
はくさい	長野県	令和6年8月1日	南部市場	インドキサカルブ ジメトモルフ	0.02 0.01	1 2
もも	福島県	令和6年8月8日	本場市場	クロチアニジン	0.03	0.7
ねぎ	青森県	令和6年8月8日	本場市場	なし	不検出	なし
カリフラワー	長野県	令和6年8月8日	本場市場	なし	不検出	なし
さつまいも	香川県	令和6年8月8日	本場市場	なし	不検出	なし
こかぶ(ホワイトポール)	千葉県	令和6年8月8日	本場市場	なし	不検出	なし
さつまいも	茨城県	令和6年9月5日	本場市場	なし	不検出	なし
にがうり	群馬県	令和6年9月5日	本場市場	なし	不検出	なし
サラダ菜	静岡県	令和6年9月5日	本場市場	なし	不検出	なし
キャベツ	群馬県	令和6年9月5日	本場市場	なし	不検出	なし
アールスメロン	茨城県	令和6年9月5日	本場市場	クロチアニジン	0.01	0.3

検出した農薬について

農薬名	種類	特徴
インドキサカルブ	オキサジアジン系殺虫剤	1990 年に米国で開発された。作用機序は、昆虫の神経軸索に作用し、神経膜のナトリウムチャネルの機能を阻害して神経系を麻痺させ、昆虫を死に至らしめるものとされている。日本では殺菌活性を示す光学異性体である <i>S</i> 体の比率を上げた「インドキサカルブ MP」として 2001 年に初回農薬登録された。
オキサミル	カーバメート系殺虫剤	コリンエステラーゼ活性阻害による神経伝達阻害により殺虫活性を有する。日本では 1981 年に初めて登録された。
クロチアニジン	ネオニコチノイド系殺虫剤	1988 年に日本企業で開発された。作用機構は昆虫中枢神経系のニコチン性アセチルコリン受容体に対するアゴニスト作用である。日本では 2002 年に初めて農薬登録された。
ジメトモルフ	ケイ皮酸誘導体殺菌剤	1983 年ドイツ企業により開発された。作用機構は、菌類の菌糸発育阻害作用及び胞子形成阻害作用である。日本では 1997 年に初めて農薬登録された。
フルフェノクスロン	ベンゾフェニル系殺虫剤	作用機序はキチン質の合成阻害によるものである。欧米諸国や中南米、アフリカ諸国等 40 か国以上で農薬登録されており、日本では 1993 年に初めて登録された。

参考:内閣府食品安全委員会 食品安全情報システム 評価書

環境省 水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準について

農業工業会

2 放射性物質検査

令和6年7月から9月までの放射能検査は、水産物24検体、農産物9検体の合計33検体について実施しました。基準値を超えた検体はありませんでした。

放射性セシウムの基準値はセシウム134とセシウム137の合計で設定されています。

- 乳児用食品については1kgあたり50ベクレル以下
- 飲料水については1kgあたり10ベクレル以下
- 牛乳については1kgあたり50ベクレル以下
- その他、一般食品については1kgあたり100ベクレル以下

(1) 水産物検査結果

セシウム検出値、合計:1kgあたりのベクレル数

検体名	産地	漁獲水域	買取日	セシウム		セシウム 合計	備考
				134 検出値	137 検出値		
ニシン	北海道	北海道・青森県沖 太平洋根室港	令和6年7月5日	不検出	不検出	不検出	天然
ギンザケフレ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和6年7月5日	不検出	不検出	不検出	養殖
カツオ	千葉県	三陸北部沖勝浦港	令和6年7月5日	不検出	不検出	不検出	天然
スルメイカ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和6年7月19日	不検出	不検出	不検出	天然
シログチ (イシモチ)	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和6年7月19日	不検出	不検出	不検出	天然
ヒラマサ	青森県	北海道・青森県沖 太平洋八戸港	令和6年7月19日	不検出	不検出	不検出	天然
ブリ	北海道	北海道・青森県沖 太平洋花咲港	令和6年7月26日	不検出	不検出	不検出	天然
カツオ	宮城県	三陸北部沖 気仙沼港	令和6年7月26日	不検出	不検出	不検出	天然
シログチ (イシモチ)	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和6年8月2日	不検出	不検出	不検出	天然
スルメイカ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和6年8月2日	不検出	不検出	不検出	天然
ヒラマサ	青森県	北海道・青森県沖 太平洋八戸港	令和6年8月2日	不検出	不検出	不検出	天然
ブリ(イナダ)	宮城県	三陸南部沖 気仙沼港	令和6年8月23日	不検出	不検出	不検出	天然
カツオ	宮城県	北海道・青森県沖 太平洋気仙沼港	令和6年8月23日	不検出	不検出	不検出	天然
ヒラマサ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和6年8月23日	不検出	不検出	不検出	天然
スルメイカ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和6年8月30日	不検出	不検出	不検出	天然

検体名	産地	漁獲水域	買取日	セシウム	セシウム	セシウム	備考
				134 検出値	137 検出値		
ガザミ (ワタリカニ)	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和6年8月30日	不検出	不検出	不検出	天然
マルアオメエソ (メヒカリ)	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和6年9月6日	不検出	不検出	不検出	天然
マダイ	青森県	日本太平洋 沖合北部横浜港	令和6年9月6日	不検出	不検出	不検出	天然
カツオ	宮城県	日本太平洋 沖合北部気仙沼港	令和6年9月6日	不検出	不検出	不検出	天然
チダイ(花鯛)	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和6年9月20日	不検出	不検出	不検出	天然
スルメイカ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和6年9月20日	不検出	不検出	不検出	天然
ガザミ (ワタリカニ)	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和6年9月20日	不検出	不検出	不検出	天然
サンマ	北海道	日本太平洋 沖合北部花咲港	令和6年9月27日	不検出	不検出	不検出	天然
トビウオ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和6年9月27日	不検出	不検出	不検出	天然

(2) 農産物検査結果

セシウム検出値、合計:1kgあたりのベクレル数

検体名	産地	買取日	セシウム	セシウム	セシウム	備考
			134 検出値	137 検出値		
ズッキーニ	長野県	令和6年7月12日	不検出	不検出	不検出	露地
ブドウ	山形県	令和6年7月12日	不検出	不検出	不検出	ハウス
ナス	群馬県	令和6年7月12日	不検出	不検出	不検出	露地
アスパラガス	栃木県	令和6年8月9日	不検出	不検出	不検出	ハウス
モモ	福島県	令和6年8月9日	不検出	不検出	不検出	露地
メロン	茨城県	令和6年8月9日	不検出	不検出	不検出	ハウス
キュウリ	福島県	令和6年9月13日	不検出	不検出	不検出	露地
ブドウ	山梨県	令和6年9月13日	不検出	不検出	不検出	露地
レンコン	茨城県	令和6年9月13日	不検出	1.81	1.81	露地

3 総水銀検査

令和 6 年 7 月から 9 月までの魚介類の総水銀検査は、10 検体(6 魚種)について実施しました。このうち、暫定的規制値を超えた検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

魚介類の水銀の暫定的規制値:検体 1 kgあたり総水銀 0.4 mgかつメチル水銀 0.3 mg

総水銀検査結果

検出値:検体 1 kgあたりに含まれる水銀のmg数(PPM)

検体名	産地	備考	収去日	検出値
カンパチ	愛媛県	養殖	令和 6 年 7 月 4 日	0.08
カンパチ	鹿児島県	養殖	令和 6 年 7 月 4 日	0.10
ブリ(ハマチ)	高知県	養殖	令和 6 年 7 月 4 日	0.12
ブリ	鹿児島県	養殖	令和 6 年 7 月 4 日	0.12
マダイ	愛媛県	養殖	令和 6 年 7 月 4 日	0.25
マイワシ	北海道	天然	令和 6 年 9 月 19 日	0.01
マアジ	宮城県	天然	令和 6 年 9 月 19 日	0.04
マアジ	島根県	天然	令和 6 年 9 月 19 日	0.04
ヨメゴチ(オナガ)	愛知県	天然	令和 6 年 9 月 19 日	0.06
ブリ(イナダ)	神奈川県	天然	令和 6 年 9 月 19 日	0.04

4 自然毒検査

貝毒検査

令和 6 年 7 月から 9 月までの貝毒検査は、下痢性、麻痺性とともに国産 7 検体、輸入 5 検体、合計 12 検体、4 種の貝について実施しました。LC/MS/MS による機器分析法により下痢性貝毒、マウス法により麻痺性貝毒を検査した結果、規制値を超過した検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことと言います。

貝毒の規制値

- 下痢性貝毒は 1kg あたり 0.16 mg オカダ酸当量(注釈 1)以下
- 麻痺性貝毒は 1g あたり 4 マウスユニット(注釈 2)以下

注釈 1:オカダ酸当量とは、測定で得られたオカダ酸、ジノフィシストキシン-1、ジノフィシストキシン-2 の検出値に係数を乗じた値の総和のことと言います。

注釈 2:マウスユニットとは、貝およびフグ等様々な毒素の影響量に対する単位のことと言います。麻痺性貝毒の場合、体重 20 グラムのマウスが 15 分で死亡する毒力が 1 マウスユニットと定義されています。

貝毒検査結果

下痢性貝毒検出値:検体 1kg あたりのmg数(PPM)

麻痺性貝毒検出値:検体 1g あたりのマウスユニット

検体名	産地	収去日	下痢性貝毒検出値	麻痺性貝毒検出値
ホタテガイ	北海道	令和 6 年 7 月 25 日	不検出	1.75 未満
ハマグリ	中国	令和 6 年 7 月 25 日	不検出	1.75 未満
ハマグリ	千葉県	令和 6 年 7 月 25 日	不検出	1.75 未満
ホタテガイ	北海道	令和 6 年 7 月 25 日	不検出	1.75 未満
ホタテガイ	宮城県	令和 6 年 8 月 29 日	不検出	1.75 未満
ハマグリ	千葉県	令和 6 年 8 月 29 日	不検出	1.75 未満
アサリ	韓国	令和 6 年 8 月 29 日	不検出	1.75 未満
ハマグリ	中国	令和 6 年 8 月 29 日	不検出	1.75 未満
ハマグリ	中国	令和 6 年 9 月 26 日	不検出	1.75 未満
アサリ	北海道	令和 6 年 9 月 26 日	不検出	1.75 未満
アカガイ	中国	令和 6 年 9 月 26 日	0.01	1.75 未満
ハマグリ	茨城県	令和 6 年 9 月 26 日	不検出	1.75 未満

5 動物用医薬品検査(抗生素質、合成抗菌剤、ホルモン剤、内寄生虫用剤等)

令和6年7月から9月までの動物用医薬品検査は、養殖魚5検体、うなぎ蒲焼6検体について実施した結果、基準値を超える検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査を言います。

動物用医薬品検査結果

検出値:検体1kgあたりのmg数(PPM)

検体名	産地	収去日	検出薬剤	検出値	基準値
カンパチ(養殖)	愛媛県	令和6年7月4日	オキシテトラサイクリン	0.02	0.2
カンパチ(養殖)	鹿児島県	令和6年7月4日	なし	不検出	なし
ブリ(ハマチ)(養殖)	高知県	令和6年7月4日	なし	不検出	なし
ブリ(養殖)	鹿児島県	令和6年7月4日	なし	不検出	なし
マダイ(養殖)	愛媛県	令和6年7月4日	なし	不検出	なし
うなぎ蒲焼き	中国	令和6年7月22日	なし	不検出	なし
うなぎ蒲焼き	中国	令和6年7月22日	なし	不検出	なし
うなぎ蒲焼き	中国	令和6年7月22日	なし	不検出	なし
うなぎ蒲焼き	中国	令和6年7月22日	なし	不検出	なし
うなぎ蒲焼き	中国	令和6年7月22日	なし	不検出	なし
うなぎ蒲焼き	中国	令和6年7月22日	なし	不検出	なし